

第30期 決算公告

2019年6月21日

東京都台東区浅草橋五丁目20番8号
株式会社セガトイズ

代表取締役社長
佐々木 章人

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,889,776	流動負債	1,904,459
現金及び預金	173,964	支払手形	64,652
受取手形	893,053	買掛金	719,012
売掛金	1,025,336	短期借入金	323,324
商品及び製品	1,243,628	リース債務	2,268
原材料及び貯蔵品	436,375	未払金	120,084
前払費用	51,739	未払費用	444,313
未収入金	27,901	未払法人税等	12,745
その他	37,776	未払消費税	27,378
固定資産	792,511	前受金	62,008
有形固定資産	198,204	賞与引当金	95,477
建物	70,487	その他	33,193
機械装置	5,443	固定負債	1,190,875
金型	43,970	長期借入金	1,100,000
車両運搬具	7,774	預り保証金	3,000
工具器具備品	41,444	長期リース債務	6,317
建設仮勘定	29,083	繰延税金負債	2,942
無形固定資産	78,090	資産除去債務	78,615
商標権	0	負債合計	3,095,334
電話加入権	0	(純資産の部)	
ソフトウェア	78,090	株主資本	1,585,896
投資その他の資産	516,216	資本金	100,000
投資有価証券	234,231	資本剰余金	1,094,297
関係会社株式	115,720	資本準備金	657
出資金	300	その他資本剰余金	1,093,640
破産更生債権等	0	利益剰余金	391,599
敷金保証金	94,687	利益準備金	13,090
会員権	5,950	その他利益剰余金	378,508
繰延税金資産	69,727	特別償却準備金	3,234
貸倒引当金	△ 4,400	繰越利益剰余金	375,274
		(うち当期純利益)	(225,223)
		評価・換算差額等	1,056
		その他有価証券評価差額金	1,056
		純資産合計	1,586,952
資産合計	4,682,287	負債・純資産合計	4,682,287

(記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。)

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

イ. 子会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

ロ. その他有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの……移動平均法による原価法を採用しております。

② デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

③ たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・製品・原材料……移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)を採用しております。

貯蔵品 ……………最終仕入原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法(ただし、工具器具備品の一部については定率法)を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物……………3年から18年

機械装置……………6年から10年

金型……………1年

工具器具備品……………2年から13年

② 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアにつきましては、社内における利用可能期間(5年以内)に基づく定額法によっております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数として、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

金銭債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち、当事業年度における負担分を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

① 重要なヘッジ会計の方法

イ. ヘッジ会計の方法

振当処理が認められている為替予約については、振当処理を採用しております。

ロ. ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段……為替予約

ヘッジ対象……売掛金、買掛金、未払費用、未払金

ハ. ヘッジ方針

為替変動リスクをヘッジする目的において、対象債権債務の範囲内で為替予約取引を行っております。

ニ. ヘッジの有効性評価の方法

個別取引毎にヘッジ効果を検証しております。

② 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税抜方式によっており、資産に係る控除対象外消費税及び地方消費税は当事業年度の費用として処理しております。

③ 連結納税制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を連結親法人とした連結納税制度を適用しております。